

◇◇◇◇子育てサポーター養成講座を開催しました◇◇◇◇

6月29日、7月20日の2回にわたり、社会福祉協議会において西ノ島町健康福祉課と共催により「子育てサポーター養成講座」を開催しました。

講師には、西ノ島町健康福祉課の富谷課長、中央児童相談所隠岐相談室の玉木相談員、さらに大田市のおゆみ保育園山本園長により、「西ノ島町の子育て支援について」「こころの発育と保育者の関わり方」「子どもの世話について」それぞれご指導を頂きました。



講師の方より、事例や体験談等を交えて具体的なお話をして頂いたことで、参加された方々は、うなずきながら熱心に受講されました。

この講座により、地域で支え合う子育てを理解していただき、今後、子育てサポーター等でのご協力や地域での子育て支援に活かしていただければと思います。

◎◎◎～参加者より沢山の感想をいただきました～◎◎◎

★改めて子育てについて考えさせられました。もっと前に聴講していればと思いましたが、これからは、周りの子供たちや孫たちに活かせたらと考えています。

★子育て中だったので大変参考になりました。子どもの話をゆっくり聞いてあげよう！と心に決めました。

★子育て方法に迷う場面が沢山ありますが、色々ヒントをもらうことができました。

「周りに頼ってもいい」「完璧じゃなくていい」と思えることが一番大事だと改めて思いました。

★今回思い切って参加して、とても良かったと思っています。町の子育て支援について詳しく話を聞くことができました。もっとこういう機会があっても良いと思いました。



ご芳志

西ノ島町社会福祉協議会へ次の方々からご寄付をいただきました。謹んで厚くお礼申し上げます。

香典返しとして

金一封 間 良雄様 (宇賀)

金一封 谷村 芳昭様 (珍崎)

金一封 角市 瑞枝様 (大津)

一般寄付として

金一封 斎藤 幸子様 (東京都)

戸籍の窓

(平成25年7月届出分)

(敬称略)

●おくやみ

角市 君子

86歳 大津

間 弘

89歳 宇賀

●おめでた

富谷 奏仁

(和明 有里)

浦 郷

杉山 大い

(赴之 晴美)

小 向

福島 風里

(海 朋美)

浦 郷

藤田 帆高

(順一 千永)

美田 尻

山下 結生

(覚 千絵)

別 府

「ふるさと西ノ島基金わがところ」
にご寄付を頂きました。

(公開を希望しない方の氏名等は掲載しておりません)

野津 恵二様
阪口 恵藏様

(横浜市 大阪市)

平成25年度分 寄付金総額

五八一,一〇〇円

(平成25年7月末現在)

ありがとうございました。

財政課



夏の盆踊り大会と灯ろう流し

8月16日（金）の夜、お盆行事の一環として、今年で10回目となる、盆踊り大会と灯ろう流しなどを美田尻会館と、その周辺で行ないました。

町内の各集落は、どこでも同じですが、美田尻地区も少子高齢化により、年毎に盆踊りの参加者が減り、寂しくなる一方でした。そこで、「盆行事実行委員会」を旗上げし、灯ろうの注文販売、出店の募集、商品券を利用した大抽選会、灯ろう流し、盆踊りなどを続けています。特に、家にお迎えした精霊に送り火を焚いて、お墓に帰って頂く風習の名残りとしての「灯ろう流し」は、家族や親戚が集まり、先祖の供養をする意義ある行事です。

全国・町内の各地区での盆行事は多少異なりますが、祖先の供養と感謝の気持ちは、みなさんが共有しています。参加された方々は、『来年もお会いしましょう』という気持ちを込めて、灯ろうが見えなくなるまで見送りました。

お盆は、本来、仏教行事だったそうです。しかし、町内・町外を問わず、働く人や勉強に励む人にとっては長期休暇となり、家族とのひと時・旧友との出会い・盆踊りで楽しむなど、私たちの生活に根付いている、暑い夏の節目だと思います。



商品券協賛の店主の皆様、ご協力して頂き、誠にありがとうございました。関係者のみなさん、来年もがんばりましょう。

美田尻盆行事実行委員会

『灯ろう流し』



大津地区



船越地区



市部地区

精霊船送り

西ノ島の夏の風物詩として多くの人に親しまれている精霊船送り。

その歴史は深く、100年以上前から造られていると言われており、竹や木を骨組みに、麦わらを船体にし、帆柱を立て、帆には色紙で作られた無数の盆旗を結びつけたその姿は、人目を引きつける華麗さを持っています。集落によっては、小中学生を中心に造られ、子供たちへの継承活動も行われています。晴々とした8月16日の早朝、お供え物をのせた精霊船は盆歌とご詠歌に送られながら青い海を滑るように引かれていきました。



小向地区



浦郷地区



波止地区